

麦類赤かび病の防除の徹底について

本年産の麦類は、気象の影響で播種期が長くなり、二条大麦の穂揃期は4月の第3～5半旬と幅広くなると予想されます。本病は開花期（二条大麦では穂揃期）から乳熟期に感染し、開花期以降に曇雨天が続く場合には発生が助長されます。本病に対する薬剤散布は病原菌の感染前が効果的であり、感染後では効果が劣りますので、散布適期を逃さないよう万全を期してください。

(1) 薬剤による防除法

散布適期は、二条大麦では穂揃期とその7～10日後、小麦では出穂5～11日後（開花始めから開花最盛期）とその7～10日後のそれぞれ2回であり、下表から薬剤を選定し、農薬使用基準に従って散布する。なお、小麦を除く麦類におけるトップジンM水和剤及び粉剤など出穂期以降1回しか使用できない剤は、それ以外の剤と組み合わせて2回散布する。

(2) 防除上の参考事項

収穫後は速やかに乾燥する。

(3) 麦類赤かび病の防除薬剤

| 薬剤名 | 散布量・希釈倍率 | 農薬使用基準 | |
|--------------|--------------|-------------------------------------|--|
| | | 時期 | 回数 |
| サルファーゾル | 400倍 | - | - |
| コロナフロアブル | 400倍 | - | - |
| イオウフロアブル | 400～800倍 | - | - |
| トップジンM粉剤DL | 4kg/10a | 収穫14日前まで | 小麦:3回以内(出穂期以降は2回以内), 麦類(小麦を除く):3回以内(出穂期以降は1回以内) |
| トップジンM水和剤 | 1,000～1,500倍 | 収穫14日前まで(小麦) 収穫30日前まで[麦類(小麦を除く)] | |
| トリフミン水和剤 | 1,000～2,000倍 | 収穫14日前まで | 3回以内 |
| トリフミン乳剤(小麦) | 1,000倍 | 収穫3日前まで | |
| シルバキュアフロアブル | 2,000倍 | 収穫7日前まで(小麦) 収穫14日前まで(大麦) | 2回以内 |
| ストロビーフロアブル | 2,000～3,000倍 | 収穫14日前まで | 3回以内 |
| ベルコート水和剤(小麦) | 1,000～2000倍 | 収穫21日前まで | 3回以内(出穂期以降は1回) |

なお、農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。